

初期臨床研修プログラム



院長挨拶

今後の日本・北海道の医療を担う優れた医師を育成することを目標に、私たちは研修プログラムを改良し、研修環境を整えて参りました。当院では、研修期間中に全人的な総合診療の基本的能力を習得することをbaseとして、将来、先生方が向かう様々な高度専門医療の現場にも十分対応可能な知識・経験をも自然と身につけることを目標としております。これら十分な研修成果を挙げるためには、先生方一人一人の研修意欲と、困難を乗り越える強い向上心が重要な要素であります。それと共に先生方の意欲・モチベーションを維持し、一人一人が持つ高い能力を引き出し伸ばせる、十分な指導体制が必要であります。当院では、一人一人を大切に、十分な指導が行き届くよう、1学年の定員を最大8名（協力型を含む）までとしております。メンターも含めた熱心な指導医の先生方・指導体制のもと、安心・充実した研修生活を送って頂けるものと確信しております。明日の医療を担う、前途有望でやる気のある医師が集うことを期待しております。来たれ若き医師達よ！



市立旭川病院長 齊藤 裕輔



問合先

〒070-8610

旭川市金星町1丁目1番65号

市立旭川病院 教育研修課 尾藤・酒井

TEL 0166-24-3181 (内線 5468)

FAX 0166-24-1125

E-mail h_kenshu@ach.hokkaido.jp

初期研修プログラム

市立旭川病院における初期研修プログラムの特徴

平成12年11月に省令として初期研修の目標が以下のように定められました。

◆ 医師が医師としての人格を涵養し、将来専門とする分野に関わらず医学、医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、一般的な診療において頻繁に関わる負傷または疾病に適切に対応できるよう、基本的な診療能力を身につけることのできるものでなければならない。

この目標のもとに当院では当初から1年次に内科、外科、救急、2年次に小児科、産婦人科、精神科、地域医療をローテートする7科必須の総合診療方式（スーパーローテート）にて行う研修を基本としています。また2年次の自由選択については、院内のその他の診療科はもちろん、当院にない診療科を他院で研修することも可能です。

研修医が医師として必要な身体疾患に関する基礎知識・基本手技だけでなく、心理社会的側面も含めた患者中心の医療を提供するための技術や態度を身につけることを目標としています。将来どんな診療科に進んでも、必要なのはスペシャリストとしての知識・技術ではありません。外来や病棟、当直でさまざまな病態に直面するため、初期研修で培った基本的臨床能力は必ず役に立ちます。

2年間の初期研修期間だけで、あらゆる疾患を経験し初期対応を習得するのは不可能ですが、医師として必要なのは、未経験の疾患や病態であっても、それらに対応するために進んで学び、習得しようとする態度や、さまざまな心理社会的問題を抱えた患者・家族に信頼される医療を提供したり、地域社会に貢献しようというプロフェッショナリズムを習得することです。

当院で多くの症例・手技を経験し、他の研修医たちとも経験を共有し、多くの指導医たちとともに医師としてのプロフェッショナリズムを育んでいきましょう！



ローテーション例



内科：循環器、呼吸器、消化器、糖尿病・代謝、血液、総合内科、神経内科、腎臓内科から選択
救急：救急(ICU)ではICUでの全身管理を研修します。

救急(CCU)は救急当直強化月間で、CCUで循環器疾患の全身管理を研修します。



結核研修

*地域医療：枝幸町国保病院、道立羽幌病院

§ 結核研修：旭川医療センター、旭川市保健所

‡ 自由選択：市立旭川病院

循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、糖尿病・代謝内科、血液内科、神経内科
腎臓内科、総合内科、小児科、外科、胸部外科、耳鼻咽喉科、産婦人科、皮膚科
泌尿器科、眼科、精神神経科、麻酔科、放射線科、放射線治療科、救急科
病理診断科

旭川医療センター（神経内科、呼吸器科、膠原病内科）

旭川医科大学病院（整形外科、脳神経外科、腎臓内科、救急科）

旭川赤十字病院（救急科、脳神経外科、腎臓内科）

北海道大学病院（整形外科）

札幌医科大学病院（全科）



充実したプライマリ・ケア

院内にプライマリ・ケア指導医*3人を抱え、旭川市内基幹病院で唯一の入院診療を行っている総合内科がある当院では、プライマリ・ケアに力を入れています。

総合内科研修 外来初診をはじめ、研修期間内では外来フォローアップ研修も行っています。

午後外来研修 内科系ローテート期間内には、時間外受付した患者さんを領域に関わらず診療する午後外来研修があり、各科指導医も自分の専門領域以外の診療も指導します。

地域医療研修 道立羽幌病院、枝幸町国保病院で毎日のように外来診療を行う機会があります。

豊富な外来診療の機会に、病歴聴取や身体診察をもとに臨床推論を行う力を養うことは、病棟研修とは一味異なる臨床の醍醐味です。

*プライマリ・ケア指導医：日本プライマリ・ケア連合学会の認定する指導医
(日本専門医機構の総合診療領域における特任指導医は2人)

高度な専門医療や救急診療

各科ローテートで様々な疾患に対する専門研修を行うことはもちろん、医師として必要な基本手技を身につけます。初期研修のうちに修得すべき基本手技の多くはこの期間内に経験できます。

Procedures on call

未経験の手技をローテート科以外の診療科からオンコールで経験できるシステムで、基本手技を効率的に身につけることができます。

新人当直医独り立ちプラン

研修医は2次救急当番日の当直を担当し、指導医のもとで救急診療研修を行います。病歴聴取に始まり、段階的に自分で検査を組み立てたり、初期治療を行ったり、専門科にコンサルトしたり、当直PHSを持って救急車受け入れから全てのマネジメントをできるように指導します。

症例カンファレンスでの振り返り

症例をたくさん経験すれば良い医師になれるわけではありません。経験した症例を振り返り(reflection on action)、他者と共有し、討論することで理解が深まります。当院ではoff-the-job trainingの機会を複数設けています。

救急症例検討会 月1回開催。当直で経験した印象に残る症例、典型的症例、ヒヤリハット症例などのcase discussion。プレゼンテーション作成の練習にもなる。

救外レビュー 隔週開催。準備は気になった救急症例リストだけ。At homeな雰囲気では指導医たちとともに振り返り。

Clinical TIPS 2,3週毎に開催。外来や病棟で遭遇するちょっとした疑問に指導医がお答えする双方向カンファレンス。

総合内科カンファレンス 総合内科の外来や病棟で経験した診断困難症例や、診療科に関わらず日常的に経験する臓器非特異的な問題に焦点を当てたcase conference。不定期開催。

研修を支えるメンター制度

初期研修中は、日常業務や将来に対する不安、悩みもつきものです。当院では2012年度より、道内初のメンターシップ制度を導入し、安心・充実した研修生活を送っていただくためのサポートシステムを整えています。

- マッチングにより希望のメンター（先輩医師）を決定します。
- 意欲促進・課題達成・キャリアアップのための支援とfeed backを提供します。
- 悩み事の相談・解決、医学的・技術的相談にも対応します。

研修医の声

- 将来どのような医師になるかという目標になる先生がメンターで指針になっています。
- メンターの先生と新たにWebレクチャーの視聴を始めたりよりよい研修を行っています。
- いろいろな経験があり、知識もより多い上級医といつでも相談できる関係性をつくるきっかけとなっています。

募集要項



2023年度 初期臨床研修医募集要項

プログラム名 市立旭川病院初期研修基本プログラム
プログラム責任者 市立旭川病院総合内科診療部長 鈴木 聡
指導医数 (35名)

内科17名、外科2名、胸部外科1名、小児科2名、麻酔科2名
産婦人科1名、精神神経科2名、耳鼻咽喉科1名、放射線科1名
放射線治療科1名、救急科1名、皮膚科1名、泌尿器科1名
眼科1名、病理診断科1名

| | | |
|--------------------|--|----------------------|
| 応募資格 | 2023年3月31日までに医師免許を取得する見込みの者 | |
| 募集人員 | 初期臨床研修医 4名 | |
| 研修期間 | 2023年4月1日 から 2年間 | |
| 研修内容 | 市立旭川病院初期研修基本プログラムに基づき、指導医の指示に従い診療業務を通じ臨床研修を行う | |
| 選考方法 | 面接 | |
| 応募締切および 面接日時・会場 | 応募締切 : 7月末、8月末 面接日 : 8月上旬、9月上旬 | |
| 提出書類 | <ul style="list-style-type: none">● 卒後臨床研修医採用選考申込書● 履歴書 (写真貼付)● 成績証明書● 大学卒業 (見込み) 証明書 | 1部 1部 1部 1部 |

提出先および問合せ先

〒070-8610 旭川市金星町1丁目1番65号

市立旭川病院 教育研修課

メール : h_kenshu@ach.hokkaido.jp

TEL : 0166-24-3181 (内線 5468)

FAX : 0166-24-1125

身分処遇

| | |
|------|--|
| 身分 | 旭川市の「会計年度任用職員」 |
| 勤務時間 | 平日 : 8:30~17:00 休日 : 土、日、祝、年末年始 当直 : 3~5回/月 |
| 休暇 | 有給10日/年、夏期休暇 (5/1~10/31) 5日間、 病気休暇、忌引休暇、生理休暇ほか |
| 給与 | 1年次 月額基本給 484,600円 年額賞与416,130円 (別途諸手当あり) 2年次 月額基本給 478,700円 年額賞与657,750円 (別途諸手当あり) |
| 宿舍 | 敷地内の医師住宅に入居可 |
| 社会保険 | 健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険 ※勤務医個人を対象とした医陪責保険について病院として加入済 |
| その他 | アルバイトは禁止する (臨床研修病院群以外での診療行為を禁止する) |